

章を設け、「人口」及び「集落」の項目をその後に廻しているの等は著者なりゆ戦後の新しい地誌をめざしての心のくばりようであると敬服する。

いま二書を比較し夫々への評者なりの読後の物足りなさをあげけるならば、まず前書にあつては帷子教授の序説の記述が教授が過去三十有余年観察しその研究に没頭された奈良盆地及び大和高原の地形学的研究に言及さるべきだつたと考えるほか、後書においても堀井教授自身の地理学に関する臭味があまりにも少いことで、地誌は誰が書いても同じことだと読者に誤解せしめるおそれのあることである。しかし誰が書いてもというのは老練の地理学者という但書きを必要とする。この場合責任は前書にあつては編者にあり、後者の場合書店の意図にあつては両教授に関係がないといわれて了えばそれまでではある。さあれ古文化財の宝庫である奈良の地にあつて、歴史家や考古学者、建築史家がややもすると、はなやかなジャーナリズムにうけてきた間にまじつて、地道な地理学一本の道を且々と歩んで来られた両教授へ敬意を表するとともにこの二書がともにカッパルになつて、今後は

じめにあげたように、多くの隣接学科の人々からも読まれ、批判されることを願うものである。

『奈良盆地』 A5版 三九八頁 昭和三年 古今書院発行 定価一、〇〇〇円  
『奈良県地誌』 A5版 四六九頁 同年 大和史蹟研究会発行 二、〇〇〇円  
(藤岡謙二郎)

### 学界消息

#### 史学研究会関係

七月例会

七月一日(土)午後一時より

於楽友会館

永井三明氏

福山敏男氏

長岡官跡の発掘  
(スライド使用)

十月例会

十月七日(土)午後一時より

於楽友会館

アメリカ歴史学界の現状

今津晃氏

ーヴィスコニン大学に学んでー

#### 国史関係

読史会 九月例会

九月九日(土)午後一時より

於京大陳列館演習室

幕末期甲府生糸商について 有泉貞夫氏

初祖と二祖 石田善人氏

ー時宗史にかんする一・二の問題ー

#### 東洋史関係

旧制大学院会例会

九月九日(土)午後二時 陳列館会議室

明代監生の出仕について 谷 光隆

新制大学院会例会

九月一五日(金)午前十時 陳列館演習室

清代の商業について 狭間 直樹

京都大学人文科学研究所夏期公開講座

中国の古典

八月一日

周礼 林 巳奈夫

論語 貝塚 茂樹

八月二日

白氏文集 平岡 武夫

元朝秘史 岩村 忍

八月三日

大同書 小野川秀美

傷寒論

藪内 清

(以上いずれも人文科学研究所講堂)

地理学関係

人文地理学会第43回例会

九月二三日(祝)・二四日(日)

於三重大学学芸学部

〔研究発表〕

古代における台地と低地の開発について

—枚方台地とその周辺—

桑原 公徳

生産様式論再考

松田 信

工業集積について

西村 睦男

〔座談会〕

地理学の諸問題 —三重県を中心に—

〔エクスカージョン〕

コース 鈴鹿—亀山—関—土山—草津

(案内) 藤岡謙二郎、松田信、浮田典良、小林博)

考古学関係

京都府西山古墳群の調査

七月五日—九月一日 京都府久世郡城陽

町の西山にある古墳群が住宅建設のために

破壊されつつあったので、京都府が発掘調

査をおこない、調査の前半を京大考古学研

究室の樋口助教が、後半を同志社大学西

詰仲男教授が担当した。七基の古墳のうち

調査されたのは前方後方墳一基、円墳二基、

方墳一基で、いずれも粘土槌をもち、鏡、

鋼鏃、鉄鏃、鉄斧、管玉、丸玉、小玉、土

師器などが出土した。

京都市一乗寺遺跡の調査

七月一日—八月一日 京都市左京区一

乗寺向畑町にある縄文式時代の遺跡が、区

画整理の工事で一部破壊されることにな

り、京都府の依頼で、京大考古学研究室の

有光教授を責任者とする緊急調査がおこな

われた。おもに、縄文式時代早期末と後期

後半の土器、石器が発掘された。

会 告

本会委員 小野山節氏は九月三十日を以って

辞任し、代って佐原真氏が委嘱されました。

右お知らせいたします。

会員各位

史学研究会

編 集 後 記

諸般の悪条件により、心ならずも刊行が遅

れてしまいました。ようやく年内ぎりぎりに

に発行できることになりました。一九六一年

を振りかえると、郵送料、印刷費などの急騰

にともない会費を値上げせざるを得ないな

ど、多難な年ではありましたが、会員も漸増

し、「財団法人」への体制も着々と整ってき

たように思われます。しかし、ややもすると

「史林」がマンネリズムに陥る傾向がないと

は申せませんので、会員各位の積極的な御投

稿と御批判を待っております。

来る一九六二年が平和で充実した研究活動

ができる年であるように祈るとともに、「史

林」の発展のための御援助をお願い致しま

す。(朝尾直弘)

史 林 (第四四巻第六号)

発行所 京都市左京区吉田本町

京大文学部内 振替京五五一五五番

理事 長 宮崎市定

編集主任 赤松俊秀

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内東町三九

中村印刷株式会社

一九六一年二月二五日印刷 定価 二百円

一九六一年二月一日発行